

英語	日本語
PAD Programs for Drowning	溺水傷病者への PAD プログラムの適用
Author Katherine M. Berg, et al. BLS Task Force.	
<p>PICOST (Population, Intervention, Comparator, Outcome, Study Designs and Timeframe)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Population: Adults and children in cardiac arrest after drowning <p>Intervention: PAD program</p> <p>Comparator: Absence of PAD program</p> <ul style="list-style-type: none"> • Outcomes: <ul style="list-style-type: none"> - Critical: Survival to discharge or 30 days with favorable neurological outcome and survival to discharge or 30 days - Important: ROSC • Study designs: RCTs and nonrandomized studies (non-RCTs, interrupted time series, controlled before-and-after studies, cohort studies) were eligible for inclusion. Unpublished studies (eg, conference abstracts, trial protocols), manikin studies, narrative reviews, and animal studies were excluded. • Time frame: All years and all languages were included as long as there was an English abstract and a full-text translation was possible. The literature search was updated to April 25, 2023. 	<p>PICOST</p> <p>P: 溺水による成人と小児の心停止傷病者</p> <p>I: PAD プログラムがあること</p> <p>C: PAD プログラムがないこと</p> <p>O:</p> <p>重大なアウトカム: 良好な神経学的転帰での生存退院または 30 日後の生存、および生存退院または 30 日後の生存</p> <p>重要なアウトカム: 自己心拍再開</p> <p>S: RCT と無作為化研究 (非 RCT、分割時系列解析、前後比較研究、コホート研究) を対象とした。論文化されていない研究 (学会抄録、臨床試験のプロトコールなど)、マネキンの研究、ナラティブレビュー、動物実験は除外した。</p> <p>T: 英文抄録があり、全文の英訳が入手できた、全ての年の、あらゆる言語による研究を対象とした。文献検索は 2023 年 4 月 25 日まで</p>
<p>Treatment recommendations</p> <p>This treatment recommendation is unchanged from the standing</p>	<p>推奨と提案</p> <p>全ての院外心停止に関して、現行の推奨と提案を変更しない。</p>

<p>recommendation for all OHCA.</p> <p>We recommend implementing PAD programs for all patients with OHCA (strong recommendation, low-certainty evidence).^{4,5}</p>	<p>すべての院外心停止傷病者に PAD プログラムを適用することを推奨する(強い推奨、エビデンスの確実性:非常に低い)。^{4,5}</p>
---	---

1. JRC の見解と解説

- 溺水による心停止傷病者に焦点をあて、CoSTR2023 で初めて検討されたトピックである。
- JRC2020 では、院外心停止傷病者に対する PAD プログラムの導入を推奨していた(強い推奨、エビデンスの確実性:低い、Grade 1C)。
- 溺水による心停止は AED の使用頻度が高い公共の場所で発生することが多いため、公共の場所に AED を設置することは溺水による心停止に加え溺水が原因ではない心停止傷病者の双方に有益である可能性がある。
- ILCOR の Scoping Review では、溺水における心停止傷病者に対する AED 使用に関連した有害事象は報告されていない。³
- 溺水に特化した PAD プログラムの有効性や費用対効果に関する質の高いエビデンスが必要である。

2. わが国への適用

すべての院外心停止傷病者と同様に、溺水傷病者に対しても PAD プログラムを適用することを推奨する予定である(強い推奨、エビデンスの確実性:非常に低い)。

3. 担当メンバー

作業部会員(五十音順)

金子洋、問田千晶

共同座長(五十音順)

野田英一郎、若松弘也

担当編集委員(五十音順)

西山知佳、乗井達守

顧問

畑中哲生

編集委員長

坂本哲也